



令和8年度 第1回

地域連携交流会

開催報告

テーマ 身寄りのない人への関わりと地域連携について

開催日時 令和8年7月28日(火) 17:30~18:30

内容 ミニレクチャー／講義／意見交換

講師 金沢市地域包括支援センターかみあらや
センター長・社会福祉士 伍賀 道子 先生

対象者 院内看護師(希望者)・ラダーⅣ申請者(対象研修)

参加人数 69名(看護師、療養支援看護師、MSW等)



多職種と連携し、身寄りのない方が安心して
その人らしく暮らしていけるよう、学びを深める
機会となりました。

参加者の声 (アンケートより抜粋)

「身寄り」と聞いたときに
すぐに浮かぶのは血縁のある方
であるが、**血縁に関わらず**本人の
支援を行う意思のある**友人、
知人も含まれる**ということ
を再確認できた。



身寄りのない人がその人らしく
生きていくためには、まだ**元気な
うちから今後の地域生活を見据えて
いくことが大切**のだと学んだ。



これから支援が必要になる人に
地域包括支援センターを紹介する
ことによって、**困った時に頼れる
場所がある**という**安心感**を
与えることができると思った。



介護保険申請に関することで
地域包括へ連絡することが
多かったが、独居・頼れる
身内が居ない人は、状況を見て
**積極的に地域包括へつないで
いきたい**と思った。



身寄りがいないとなるとどこに
頼ればいいのか分からないなど
といった問題が出てくるので、
**医療機関だけでなく、
行政や地域包括支援センターと
いった多職種の方と協力して
支援**したい。



地域包括の役割を再確認できた。
家族背景が複雑な患者も増えて
いる現状であり、**頼れる身寄りの
有無を確認する必要性**を学んだ。



まとめ

今回の交流会では、身寄りのない方が安心してその人らしく生活できるようにするために、
早期から情報を収集し、地域包括支援センター等と連携していくことの重要性を学びました。
また、「身寄り」の捉え方を広げ、本人の意思・意向を尊重しながら、多職種や地域と協力して
支えることが、切れ目のない支援につながることを再認識しました。

今後も、地域とつながり、身寄りのない方が安心してその人らしく
暮らしていける支援を実践していきます。



※イラストの一部はAI生成によるものです